



村上貞夫さんから指導を受けました



サツマイモの苗を植える飯豊小の児童

「健康なからだは健康な食べ物から、健康な食生活は健康な土から」

町では、ミネラル野菜の産地化を進める一方、学校給食をはじめとする「地産地消」を推進しています。町民のみなさんが、健康な土から生産される健康な農作物を食することにより、健康な生活が送れるように、ミネラル野菜の生産を支援しています。

子どもたちが野菜づくりに挑戦

町内の学校、幼児教育施設でプランターや畑で野菜を栽培する際に、微量要素（ミネラル分）を含んだ肥料等を町から配布しました。

このうち、飯豊小学校では、トマトや、サツマイモのミネラル栽培にチャレンジしました。当日は同校のOBであり、ミネラル野菜部会の前会長の村上貞夫さんから指導を受け、サツマイモの植え付け作業などを行いました。

また、浮金中学校では、地元越野地区で昨年から本格的に栽培を開始した「枝豆」の栽培に挑戦しています。

6月上旬には、農協で育苗された枝豆の苗をいただき、ミネラル野菜部会の藤井崇会長のア



枝豆の定植を行う浮金中の生徒

町の水田農業の振興方策を定めた「地域水田農業ビジョン」

おいしい『枝豆』生育中!!

ドライスを受けて、定植作業が行われました。順調に生育すれば夏休み後の8月下旬頃には収穫期を迎えます。同校の生徒たちは、給食時に浮金小学校の児童とともに味わいたいと張り切っています。



育苗された苗を植えました

に重点振興作物として位置づけている枝豆。今年も、転作田や畑で栽培が始まりました。ミネラル栽培による枝豆については、農協の育苗センターで育苗され、浮金越野地区、雁股田黒森地区、和名田物木作地区の転作団地を中心に栽培されています。順調に生育すれば、8月上旬から本格的な出荷が開始される見込みです。生産者のみなさんは、子どもたちにおいしい枝豆を味わってもらいたいと、町内の学校や幼児教育施設に給食やおやつ食料としての提供を計画しています。



枝豆の団地（雁股団地）